



今の特集

ゴールドとセラミックの違いと使い分け



▲ゴールドとセラミックの違い

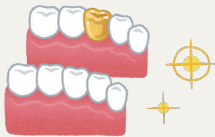
前回はのニュースレターでは「**ゴールドとセラミックの違い**」について解説しました。

前回に引き続き、「**セラミックのデメリット**」から解説していきます。

セラミックのデメリット

金属素材の詰め物と比べると、どうしても**破折のリスクがある**ことです。特に硬いものを噛んだときなどに、セラミックが割れてしまう可能性があるため、セラミック本体の強度確保のため**歯をたくさん削る必要がある**のも事実です。また、噛み合わせの調整を時々行わなければならないため繊細な材料であると言えます。

先月号からここまで、ゴールドとセラミックという全く違う素材についてご説明してきましたが、**共通点**もたくさんあります。



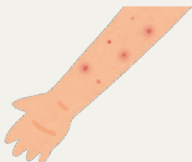
値段が高い

銀歯は保険が効くため1本で数千円程度になりますが、**ゴールドやセラミックは高品質な素材であるため高額**になります。



経年劣化しにくい

ゴールドやセラミックは劣化しにくく長持ちするのが特徴です。銀歯は経年劣化しますので、個人差はありますが耐用年数は短命だと言われています。



アレルギー

銀歯だと**金属アレルギー**を引き起こしやすい金属です。**金属アレルギーの心配が少ないゴールドやセラミックであれば、その心配もありません。**

以上のように、ゴールドとセラミックにはそれぞれに銀歯にはない優れた特徴があります。

「歯を極力削りたくない!」「見た目はそんなに気にしない!」

という方は、比較的可見づらい小臼歯から後ろの歯はゴールドという考え方があります。

また、審美性と適合・生体親和性を考慮すると、前歯～小臼歯まではセラミックにして、応力がかかる大臼歯には柔軟性のあるゴールドという考え方もあります。

それぞれの素材が持っているメリットと、皆様のご希望・お口の中の状態に合わせて、適材適所で使用する素材を使い分けすることが、お口の健康の永続性という観点で非常に大事なことだと思っています。

歯を極力の残すことを前提として、皆様のご要望をお聞きし、最も適切な補綴治療をご提案いたします。是非お気軽にご相談ください。

事務長の孤独のグルメ

今月の孤独のグルメは、
北海道函館市亀田港町63番5号

「長寿庵」

季節によって変わる蕎麦屋の音。夏はズルズル。冬はフーフー。音を立てるのは、出汁の風味を引き立てるため。ネギも、わさびも溶いちゃダメ。刺身のようにちよいと乗せて…盛が多いから、季節の音が所狭しと駆け巡る。今年も来たよ。この時期が!



うまい!



＼ P2 OPEN! ／

Dr.Shun's Tweet.



シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>